



新潟市

中央区 だより

平成23年

2月20日

第93号

都心が賑わい、
人々が集い交流する
水辺のまち 中央区

主な内容

- ・中央区自治協議会だより ①
- ・お知らせ、ふれあい掲示板 ②
- ・公民館の催し、健康・福祉ガイド ③
- ・カメラでChu!!ウオーク ④

中央区役所 ☎223-1000(代表)
ホームページは市トップページから
⇒<http://www.city.niigata.jp/>

中央区役所だより 発行:新潟市 中央区役所 地域課 〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1 ☎025-223-7035



協議会の委員は各地域のコミュニティ協議会や公共的団体などの代表者、学識経験者や公募委員で構成され、区民と市との協働の要として大きな役割を担っています。

全体での会議のほか、3つの部会を設け、それぞれ活動しています。

区民と行政が協働しながら地域の特色あるまちづくりを進めるために、地方自治法などに基づいて各区に設置することができるとの附属機関です。

中央区自治協議会とは

区自治協議会は、区民の皆さんと行政との「協働の要」となるよう、区民の身近なまちづくりや地域課題の解決のため、多様な意見の調整や取りまとめを行っています。

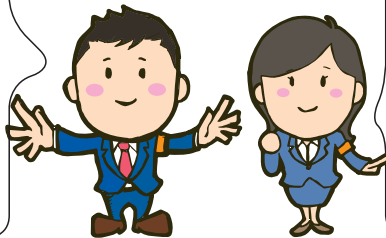
今号では、「中央区だより」の一面を使い、同協議会の編集による「中央区自治協議会だより」としてお届けします。

中央区自治協議会だより

区民参加のまちづくりをめざした

創刊号

「区ビジョンまちづくり計画」とは?



「区ビジョンまちづくり計画」は、「新潟市新・総合計画」の一部である「区ビジョン基本方針」の実施計画に相当します。

計画期間は、平成20年度から26年度までの7年間です。

中央区の概要や課題、まちづくりの方針とその実現に向けた具体的な取り組みを示しています。

区自治協議会では、「区ビジョンまちづくり計画」の実現に向けて活動しています。

区長あいさつ

中央区長 元井悦朗

中央区自治協議会の皆さまには、住民自治の推進に向け、市との協働の解決に取り組んでいただいておりますことに感謝申し上げます。

「中央区自治協議会だより」の発行が、区民の皆さまの連携強化・地域力の増大に大きく寄与するものと期待しています。

これからも、賑わいにあふれ、暮らしやすい中央区にするため、中央区自治協議会と力を合わせて頑張っております。皆さまのご支援をお願いいたします。



議長を務める関川会長

提供を行い、当該協議会の周知を図ることが喫緊の課題です。

中央区自治協議会の現況と課題について

会長 関川弘雄

3つの部会は、以下の活動をしています。

平成21年4月にスタートした2期目の区自治協議会では、1期目から引き継がれた3つの部会により「区ビジョンまちづくり計画」の進捗状況や内容の確認・評価などについて協議を行い、また、区民の声（意見）を届ける役割を担っているコミュニティ協議会（以下、コミ協と略）の活性化に向け、各コミ協の現状を把握し、抱える財源や活動拠点確保の問題、ほかのコミ協との交流など各種の検討をしています。

一方、区自治協議会について、区民の関心が少ないことが懸念されており、区民に協議内容を報告するなど積極的に情報提供を行い、当該協議会の周知を図ることが喫緊の課題です。

平成21年4月にスタートした2期目の区自治協議会では、1期目から引き継がれた3つの部会により「区ビジョンまちづくり計画」の進捗状況や内容の確認・評価などについて協議を行い、また、区民の声（意見）を届ける役割を担っているコミュニティ協議会（以下、コミ協と略）の活性化に向け、各コミ協の現状を把握し、抱える財源や活動拠点確保の問題、ほかのコミ協との交流など各種の検討をしています。

拠点と賑わいのまち部会

「区ビジョンまちづくり計画」で掲げた政令市新潟の中心区としての役割を区民・地域・行政の協働で実現すべく、現状を把握し、問題点を検討しています。

テーマとして①新公共交通②中心市街地の活性化③新潟駅から古町に至る「都心軸」を掲げて視察を実施し、その内容に基づき、市が開催した「まちなか再生本部会議」ならびに「新たな交通システム導入検討委員会」などにおいて、市民目線でその具体化に向けた方向性を提案しています。

(座長・三崎晋)



まちなかの視察

人にやさしい暮らしのまち部会



活発な意見交換

進行する少子高齢社会の中で、①安心・安全なまちづくり②地域のまちづくり③若者や高齢者、障がい者、子育て世帯への支援④快適な生活環境づくり⑤行政サービスの向上など区民に身近な課題について学習会を行い、市から年度ごとの進捗状況について報告をしていただきました。

特に、自主防災組織の結成やコミ協間の交流の必要性、コミ協活動の拠点づくり、コミ協への物心両面にわたる支援などは、行政の課題としても上がっています。今後も、区民と行政の協働をどう図っていくかが問われています。

(座長・笠原美紀子)

水辺とみなとのまち部会

市営汐見台住宅跡地利用の提案 検討委員会発足へ

区ビジョン第3章「IV都市がうるおう水辺のまち」「Vみなとのまち」に係わる事柄を勉強し、具体化の検討をしています。

①海岸林と鳥屋野潟を取り上げ、市営汐見台住宅跡地を海岸林育成のモデル地区に指定し海岸林を復元する提案書を提出しました。

②市民が鳥屋野潟とどう向き合ったら良いのか、その方向性を探る検討を続け、年度内に提案できるよう努力しています。

(座長・皆川袈裟雄)



海岸林の視察



区長との意見交換会を実施

【編集委員】編集長・笠原美紀子、副編集長・本間勉、香田和夫、新保政春、水野透

あとがき 区長との意見交換会での発案から本号の発行の運びとなりました。今後、年3〜4回のペースで発行を続けていく予定です。区民の皆さまとの情報共有の場となれば幸いです。



編集会議の様子